



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 寿スピリッツ株式会社
コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部长 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	17,164	0.2	1,578	△15.2	1,598	△14.8	942	△8.0
26年3月期第3四半期	17,126	10.5	1,861	18.0	1,876	18.0	1,023	11.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 968百万円 (△5.2%) 26年3月期第3四半期 1,021百万円 (12.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	90.84	—
26年3月期第3四半期	98.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
27年3月期第3四半期	14,574		8,602		59.0	829.33		
26年3月期	14,557		8,049		55.3	775.95		

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 8,602百万円 26年3月期 8,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	△0.6	1,940	△17.2	1,960	△17.0	1,150	△10.0	110.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	10,373,840 株	26年3月期	10,373,840 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	473 株	26年3月期	413 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	10,373,373 株	26年3月期3Q	10,373,476 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、前連結会計年度の出雲大社及び伊勢神宮の遷宮効果及び消費税増税前の駆け込み需要の反動減に加え、物価上昇及び税負担感の増加に伴う購買意欲の減退、更に大雨や台風による天候不順の影響を受けるなど、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、既存ブランドの育成及び主力商品の強化はもとより、持続的な成長に向け、『ニューコンセプトメーカー』をテーマに、新商品・新店舗・新ブランド創り、新ビジネス、海外展開を強化ポイントに取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、首都圏での展開強化などにより17,164百万円（前年同期比0.2%増）となり、僅かながら前年同期を上回ったものの、利益面では、売上高の伸び悩みにより人件費の増加を吸収できなかった結果、営業利益は1,578百万円（前年同期比15.2%減）、経常利益は1,598百万円（前年同期比14.8%減）、四半期純利益は942百万円（前年同期比8.0%減）となり、ともに減益となりました。

なお、健康食品事業の再構築に向け、平成26年9月に純藍株式会社（東京都港区）を設立いたしました。また、清算中でありました株式会社国武商店（香川県仲多度郡）は平成26年7月に清算終了し、通販基幹業務システムサービス事業を営む子会社の株式会社ジュテックス（東京都港区）は、事業中止に伴い、同年12月をもって解散いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「ジャパルシー」について量的な重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しており、以下の記載における前第3四半期連結累計期間との比較は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき組み替えた数値を使用しております。

① ケイシイシイ

「ルタオ」を擁するケイシイシイは、主力商品「ルタオプレミアまあある」の道内での卸展開強化及び道内店舗及び外商部門の販売力強化に注力いたしました。また、平成25年7月に東京・表参道に立上げましたアントルメラッセ専門店「GLACIEL（グラッシェル）」は、認知度の向上に向け、通販・催事展開など販売チャンネルの拡大に努めました。

その結果、売上高は、5,906百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は590百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

② 寿製菓

寿製菓は、新商品開発及び販路の拡大に注力したものの、出雲大社の遷宮効果の反動減による山陰地区の低迷などにより、売上高は5,979百万円（前年同期比5.8%減）となり、営業利益は563百万円（前年同期比30.1%減）と、減収・減益となりました。

③ 販売子会社

販売子会社は、関西地区では、新商品「九条ねぎ京えびせんべい処」及び「神戸三宮フレンチトーストラングドシャ」などの新商品の拡販により、概ね堅調に推移いたしました。一方、東海地区は、伊勢神宮の遷宮効果の反動減で苦戦いたしました。その結果、売上高は3,402百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は179百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

④ 九十九島グループ

九十九島グループは、平成25年6月に福岡・大名に立上げましたフレンチトースト専門店「Ivorish（アイボリッシュ）」の2号店を平成26年4月に東京・渋谷にオープンするなど新業態店の認知度拡大に注力いたしました。その結果、売上高は、2,589百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は138百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

⑤ 但馬寿

但馬寿は、新商品開発に注力した一方、伊勢神宮の遷宮効果の反動減に伴うグループ向け売上の低迷などにより、売上高は810百万円（前年同期比11.4%減）、営業利益は44百万円（前年同期比52.4%減）となりました。

⑥ シュクレイ

首都圏での多ブランド展開に注力しておりますシュクレイは、東京駅及び羽田空港を中心に「ザ・メープルマニア」をはじめとする各ブランドの認知度向上に向け、販売力の強化に努めました。その結果、売上高は、2,065百万円（前年同期比18.3%増）となり、営業利益は129百万円（前年同期比100.4%増）と、増収・増益となりました。

なお、平成26年7月に「ルミネ大宮店」、同年10月に「築地ちとせ本店」を退店した一方、同年9月に新ブランド「東京フィナンシェ」を東京駅構内に、また、ルミネ立川では同年6月に改装のため一時休業した「コートクール」を同年10月に改装オープンにより再開したほか、同時に「東京ミルクチーズ工場」を新規に加え2店出店いたしました。

⑦ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業及び通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。健康食品事業は、平成26年9月をもって会員制直販事業を中止し、通販基幹業務システムサービス事業は、事業中止に向け既存会員の他社サービス等への移行を進めた結果、売上高は20百万円（前年同期比88.0%減）となり、営業損失は52百万円（前年同期は営業損失147百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、14,574百万円となり、前連結会計年度末と比べ17百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（445百万円）、商品及び製品の増加（189百万円）、現金及び預金の減少（731百万円）などの要因によるものです。

負債は、5,972百万円となり、前連結会計年度末と比べ536百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（233百万円）、長期借入金の減少（204百万円）、未払法人税等の減少（536百万円）、賞与引当金の減少（189百万円）などの要因によるものです。

純資産は、8,602百万円となり、前連結会計年度末と比べ553百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加（942百万円）、配当金の支払いによる減少（414百万円）などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.7ポイント増加し、59.0%となり、1株当たりの純資産は829円33銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、当第3四半期累計期間における業績及び今後の見通しを踏まえ、平成26年5月13日公表の通期業績予想を修正いたしております。

詳細は、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,690,554	1,958,624
受取手形及び売掛金	2,489,507	2,934,576
商品及び製品	563,946	753,452
仕掛品	40,319	25,737
原材料及び貯蔵品	347,481	386,930
その他	474,954	506,616
貸倒引当金	△26,348	△29,220
流動資産合計	6,580,413	6,536,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,183,184	3,126,649
機械装置及び運搬具(純額)	735,404	811,573
工具、器具及び備品(純額)	246,448	245,180
土地	2,500,667	2,500,667
リース資産(純額)	10,754	7,993
建設仮勘定	7,531	46,983
有形固定資産合計	6,683,988	6,739,045
無形固定資産	105,678	109,519
投資その他の資産		
その他	1,207,509	1,206,120
貸倒引当金	△19,995	△16,427
投資その他の資産合計	1,187,514	1,189,693
固定資産合計	7,977,180	8,038,257
資産合計	14,557,593	14,574,972
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	790,630	1,024,289
短期借入金	1,650,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	355,628	291,870
未払法人税等	677,175	140,666
賞与引当金	412,990	223,016
その他	965,975	1,154,258
流動負債合計	4,852,398	4,484,099
固定負債		
長期借入金	575,185	370,682
退職給付に係る負債	846,071	890,634
その他	234,689	226,612
固定負債合計	1,655,945	1,487,928
負債合計	6,508,343	5,972,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	5,489,008	6,016,364
自己株式	△421	△543
株主資本合計	8,029,548	8,556,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,702	46,163
その他の包括利益累計額合計	19,702	46,163
純資産合計	8,049,250	8,602,945
負債純資産合計	14,557,593	14,574,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	17,126,330	17,164,646
売上原価	8,011,471	8,114,728
売上総利益	9,114,859	9,049,918
販売費及び一般管理費	7,252,960	7,471,540
営業利益	1,861,899	1,578,378
営業外収益		
受取利息	264	189
受取配当金	2,934	3,311
受取地代家賃	12,086	12,034
その他	31,353	31,997
営業外収益合計	46,637	47,531
営業外費用		
支払利息	22,775	16,304
その他	9,411	10,884
営業外費用合計	32,186	27,188
経常利益	1,876,350	1,598,721
特別利益		
固定資産売却益	—	354
特別利益合計	—	354
特別損失		
固定資産売却損	76	—
固定資産除却損	25,064	8,953
減損損失	—	11,513
特別損失合計	25,140	20,466
税金等調整前四半期純利益	1,851,210	1,578,609
法人税等	827,516	636,316
少数株主損益調整前四半期純利益	1,023,694	942,293
四半期純利益	1,023,694	942,293

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,023,694	942,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,715	26,461
その他の包括利益合計	△1,715	26,461
四半期包括利益	1,021,979	968,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,021,979	968,754

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシー シー	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	計
売上高							
外部顧客への売上高	5,082,889	4,250,609	3,538,601	2,107,311	232,743	1,746,738	16,958,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	686,124	2,095,248	—	215,424	681,770	—	3,678,566
計	5,769,013	6,345,857	3,538,601	2,322,735	914,513	1,746,738	20,637,457
セグメント利益 (△は損失)	620,827	806,788	223,653	149,635	93,126	64,738	1,958,767

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	167,439	17,126,330	—	17,126,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,053	3,679,619	△3,679,619	—
計	168,492	20,805,949	△3,679,619	17,126,330
セグメント利益 (△は損失)	△147,410	1,811,357	50,542	1,861,899

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額50,542千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額474,533千円、セグメント間取引消去額11,593千円、たな卸資産の調整額△40,412千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△395,172千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシー シー	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	計
売上高							
外部顧客への売上高	5,167,545	3,946,530	3,400,364	2,347,812	217,526	2,065,824	17,145,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	738,467	2,033,037	1,935	241,352	592,549	—	3,607,340
計	5,906,012	5,979,567	3,402,299	2,589,164	810,075	2,065,824	20,752,941
セグメント利益 (△は損失)	590,140	563,953	179,624	138,873	44,307	129,763	1,646,660

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	19,045	17,164,646	—	17,164,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,104	3,608,444	△3,608,444	—
計	20,149	20,773,090	△3,608,444	17,164,646
セグメント利益 (△は損失)	△52,038	1,594,622	△16,244	1,578,378

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額△16,244千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額479,477千円、セグメント間取引消去額16,144千円、たな卸資産の調整額△42,835千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△469,030千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より「ジャパルシー」について量的な重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シュクレイ」セグメントにおいて、店舗の閉店が決定されたことにより、回収可能性が認められなくなった事業資産に係る減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は11,513千円であります。